

# あつぎ市議会だより

第214号 発行日/平成24年11月15日 発行/厚木市議会 編集/広報広聴特別委員会 〒243-8511 神奈川県厚木市中町三丁目17番17号 ☎046(225)2700

## 9月定例会

### 厚木市初 市議会 決算議案を常任委員会で分割審査

#### 一般質問 安心安全・教育・福祉などを論議

9月定例会は、8月30日から10月5日までの会期37日間で開かれました。

市長から初日に提出された議案は、平成24年度病院事業会計補正予算や、平成23年度一般会計など8会計の歳入歳出決算、条例の制定・改正、市道路線の認定のほか、平成24年度一般会計補正予算など23議案です。このうち初日に採決し、可決した「平成24年度厚木市病院事業会計補正予算(第1号)」を除く22議案は、所管の常任委員会に付託されました。

本会議第2日から第4日の3日間には、議員17人が登壇し、一般質問が行われました。

また、休会中に各常任委員会が開かれ、付託された案件や今年度から分割付託された決算議案に対し、慎重な審査が行われました。

最終日、各常任委員長の審査結果報告の後、6党派による討論が行われ、採決の結果、全議案を原案どおり認定・可決しました。

さらに、市長から「教育委員会委員の任命について」の議案2件と「監査委員の選任について」の議案1件、議員から「緊急事態基本法の早急な制定を求める意見書について」など議案2件が追加提出され、いずれも同意・可決しました。

#### 補正予算

可決した補正予算議案は、病院事業会計と一般会計の2件です。

病院事業会計補正の内容は、5月に入札を行い、一部不調となった市立病院建設工事について、新病院の早期開院を目指し、必要な費用を確保するため、所要の補正をするものです。

一般会計補正の主な歳出の内容は、圏央道の圏央厚木インターチェンジが開設されることに伴う記念事業費のほか、児童扶養手当の受給者数増加に伴う給付事業費や、新規バス路線を整備するとともに、通学路の危険箇所を解消する交通安全施設事業などを増額するものです。

各会計の補正後の予算額、既定の歳入歳出予算に対する増加額(カッコ内)は次のとおりです。  
◇病院事業会計 資本的支出123億3444万円(20億8千万円増)  
◇一般会計 739億7

936万7千円(1億460万9千円増)

#### 平成23年度決算

今年度から決算議案を所管の各常任委員会に分割付託し、平成23年度の事業執行について、質疑を行ったほか、今後の行財政運営に関し、執行機関に要望を行いました。認定した決算議案は8件です(7面参照)。

#### 条例の制定

可決した条例の制定議案は2件です。

「厚木市市民協働推進条例」は、市民協働に関する基本的な事項を定め、市民や市民活動団体、市の役割などを明らかにし、市民協働によるまちづくりを推進するため、制定するものです。

「厚木市セーフコミュニティ推進条例」は、市民の事故やけがなどの発生の予防、その他の地域社会の課題解決に資するため、セーフコミュニティを推進し、誰もが健康で安心して安全に暮らすことのできる地域社会の実現に寄与することを目的に、制定するものです。

#### 教育委員の任命に同意

教育委員会委員5人うち、2人の任期が満了することに伴う後任委員の任命について、最終日に市長

から同意を求める議案が提出され、次の方々の任命に賛成全員で同意しました。

◎田口孝男氏(妻田北)  
◎馬嶋順子氏(下萩野)

#### 監査委員に 田上祥子氏

議員の中から選出する監査委員に田上祥子議員(公明党厚木市議員団)を選任したいとの議案が最終日に市長から提出され、賛成全員で同意しました。



田上監査委員

#### 農業委員に 2氏を推薦

議会推薦の農業委員会委員2人が辞職することに伴い、最終日に次の方々が推薦されました。

◎寺岡まゆみ氏(戸室)  
◎石井芳隆氏(金田)

2面下段に続く

#### 主な内容

- ◆一般質問 2～5面
- ◆広報広聴特別委員会 3面
- ◆議会の在り方検討会 3面
- ◆委員会の審査 6・7面
- ◆本会議の審議結果 8面



今定例会では、17人の議員が3日間にわたり一般質問を行い、市政全般の施策について市長などの考えをたどりました。主な質問と答弁の要旨を紹介します(掲載は質問順)。

### 職員給与と税収の連動性を検討していくか

改革あつぎ 徳間 和男議員



問 給与と税収を連動させる検討をするか。

答 総務部長 現行の給与体系が、国家公務員に対する人事院勧告制度によることから、税収に給与を連動させる仕組みにはなっていないが、現在の厳しい財政状況に処するため、本年4月から職員給与を削減している。現在、国で公務員制度改革が議論されており、地域主権の関連から、地方の自主性を尊重した給与制度に変わる可能性もあるが、今後の動向を十分注視していきたい。

答 宮台副市長 「あつぎ元氣プラン」の実施計画策定に当たって、市民サービスの提供の問題と第5次厚木市行政改革

大綱による行政改革を徹底的に行っていくという中でも、人件費の関係は相当取り上げている。今後も改革を実行しながら、それらの問題について取り組んでいきたい。

### ●大花火大会の開催

問 海老名市と一緒に海老名市と一緒に行うか、海老名市に負担を求めるときではないか。

答 産業振興部長 多くの市民の皆さまに愛され、また企業の皆さまに支えられ、厚木市の事業として今日に至っている。共催の話は、大変貴重な意見と受け止めるが、大花火大会を守っている関係者がたくさんいる。市民の皆さまで十分議論を重ねられ、今後の方向性を考えていく必要がある。

### 消費税増税による影響をどう考えるか

あつぎ市民の党 奈良 握議員



問 消費税増税に対する基本的な見解と影響は。

答 市長 社会保障の4分野に使用しているが、中身が明確でない。地方への割合や不交付団体への扱いが見えず、また低所得者への対応が課題である。市民や法人にも影響があり、駆け込み需要などの影響を考慮しておかなければいけない。

論は国民に影響する話で、ある意味、地域主権の主體的な考え方になる。国に対し、いろいろな形でつきり言い、分配、依存から自立し、創造していくことになる。機会を見て前向きに訴えていく。

### ●教育委員会の改革

問 進捗状況は。

答 教育総務部長 事務の管理および執行状況を外部で点検、評価し、報告書を公表するほか、教育委員会定例会で柔軟な対応ができるよう規則改正を行っている。また、今後校長と教育委員による今日的課題などの意見交換会を予定している。

答 財務部長 現行の地方消費税交付額に加え、税率が8%になる平成26年度に約12億円、税率が10%になる28年度に約24億円の配分を見込んでいる。また、市が事業で負担する消費税は、24年度当初予算ベースで約9億円であり、税率10%では2倍の額となる。

問 地域主権への準備の認識はしているか。

答 市長 消費税の議論はしている。

### 神奈川県緊急財政対策本部調査会の中間意見の影響は

日本共産党 釘丸 久子議員



問 神奈川県緊急財政対策本部調査会の中間意見が実施された場合の市の財政および市民生活に及ぼす影響と対応は。

答 市長 県は調査会からの中間意見を受け、県有施設や補助金など、聖域を設けずゼロベース

で見直すなど、緊急財政対策の取り組みの方向性を明らかにした。実施されると県単独補助金などの見直しにより、一部の事業が廃止になるなど、市民生活に影響が出る。今後は、市町村の負担の増大や行政サービスの低

### 不育症治療に助成をする考えは

日本共産党 栗山 香代子議員



問 不育症治療に助成をする考えはあるか。

答 市長 不育症治療に対する助成は少子化対策の一つであり、現状、新たな助成制度の創設を国に要望している。今後、国の動向を注視しながら、市における助成制度の方向性を研究していく。

### ●高年齢者バス割引乗車券購入費助成事業

問 現状と課題は。

答 市長 高齢者の外出機会の拡大や社会参加の促進を図るため、乗車券一年分の購入を希望される満70歳以上の方に購入費の一部助成を行って

情勢などで離職した方や、無年金および低年金の高齢者からの申請が増加している。受給者一人一人にきめ細かな支援を行うなど、自立助長に向けた取り組みが必要である。

答 まちづくり計画部長 平成23年度と24年度前期における投資効果は約13倍で、最終的な経済波及効果は約8億3千万円になるとみている。

答 市長 本制度は、緊急的な経済振興対策で平成23・24年度の実施としており、所期の目的は達成されたと考えている。

問 現状と課題は。

問 県は財政が厳しいと言っているが、全国の県と比較すると財政状況は決して悪くない。県民生活、福祉を削ったお金でリニア中央新幹線を推進するなどの経済のエンジンを回すということだが、地方自治体として何をすべきかは違っているのではないか。

下が懸念されることから、県内他市町村と連携を図り、対応を検討していく。

答 宮台副市長 全く同感であり、神奈川県緊急財政対策本部調査会の中間意見に沿った形で実行されると、今行われている権限移譲を含め、さまざまな関係に影響が出てくる。県の行政機能そのものが全く機能しなくなってしまう感じがする。補助金も制度などに基づいてこれまで負っていた義務を、放棄することになり、誠に憤りを感じる。

1面から続く

### 条例の改正

可決した条例の一部改正議案は5件です。

「災害対策基本法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例」の主な内容は、災害対策基本法の一部改正に伴い、厚木市防災会議の所掌事務および委員の任命基準を改めるほか、所要の措置を講じるため、厚木市防災会議条例および厚木市災害対策本部条例を改正するものです。

「厚木市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例」の主な改正内容は、資源およびごみの分別を徹底し、ごみの減量化・資源化を推進するため、市民や事業者、市の役割を明確化するとともに、手数料を見直すため、改正するものです。

このほか、法律や省令などの一部改正に伴い、「厚木市職員の公正な職務の執行の確保等に関する条例」「厚木市暴力団排除条例」「厚木市火災予防条例」を改正するものです。

可決した市道路線の認定議案は6件です。

内容は、下川入地内、三田南二丁目地内、妻田北四丁目地内、下荻野地

### 議員提出議案

可決した議員提出議案は、国会や関係行政庁に意見書の提出を求める議案の2件です。

「緊急事態基本法の早急な制定を求める意見書」は、国が大規模自然災害や武力攻撃、テロなどの緊急事態に備え、国民の生命および財産を守るため、万全の措置を講じるよう、「緊急事態基本法」の制定を要望するものです。

「こころの健康を守り推進する基本法(仮称)の制定を求める意見書」は、深刻な事態となつてきている心の健康問題に対して、精神保健医療の在り方を総合的に改革するため、「こころの健康を守り推進する基本法(仮称)」の制定を要望するものです(意見書は4面参照)。

### 会議録の閲覧を!

本会議や委員会の詳しい内容は、インターネットや市政情報コーナー(本庁舎1階)などで会議録をご覧ください。なお、会議録ができるまでの間は、インターネット会議中継(録画放映)もご覧いただけます。

### 中学校にことばの教室を 設置する考えはあるか

民主クラブ 古川 環 議員



問 中学校でことばの教室を必要とする生徒がいる中、設置する考えは。

答 教育長 さまざまな点で小学校と異なる状況もあるので、今後研究していきたい。

問 設置されれば通いたいという生徒がいるか調査し、検討すべきと思うがどうか。

答 学校教育部長 どのくらい必要とする保護

### 脳脊髄液減少症に 対する取り組みは

公明党 遠藤 浩一 議員



問 脳脊髄液減少症に対する厚木市と教育委員会の取り組みは。

答 市長 ホームページで症状や診療情報の提供をしており、今後も、正しい理解が図られるよう周知していく。

答 教育長 頭痛や目まいなどの症状を長期間訴える児童・生徒に対し、医療機関での受診を勧め、適切な医療につなげる

●通学路の安全対策  
問 通学路における安全対策の取り組みは。

答 教育長 通学路の安全対策協議会を関係部

昨年年度、学習指導要領が改訂されて、授業時数が増えている中、例えば小学4年生、5年生でも行いたい気持ちはあるが、授業時数の関係で児童に放課後の余裕時間がなく、対応できないため現在の形でお願している。

問 放課後あつぎ元塾

問 現在、小学3年生のみの実施だが、それ以外の学年から参加したいの声は出ていないか。

答 学校教育部長 学年を拡大してほしいという意見は、保護者の方から大変多い。小学校は、

### 委員会の行政視察

各委員会は、所管する事項について情報収集し、専門的知識を深め、優れた施策を市政や市議会運営に反映させるため、先進都市を訪問し調査を行っています。

このほど実施した厚木市立病院特別委員会と議会運営委員会の行政視察は次のとおりです。

◆厚木市立病院特別委員会 10月16・17日、病院の運営および施設について(長崎県佐世保市立総合病院)

◆議会運営委員会 10月23・24日、大分市における議会改革の取り組みについて(大分県大分市)



### 第6次厚木市道路整備 五箇年計画の事業手法は

市政クラブ 井上 敏夫 議員



問 費用対効果を上げる事業手法を用いる努力をしているか。

答 市長 整備事業手法や施工法など費用対効果に十分配慮しながら、着実な事業推進に努めていきたい。

●都市施設の現状などの把握  
問 職員は踏査を徹底して、道路や公園などの都市施設の現状と課題の把握に努めるべきと考え

答 市長 都市施設は

### 市民と市民活動団体への 支援の現状と課題は

神奈川ネット 内川 由喜子 議員



問 「厚木市市民協働推進条例」の制定などにより、市民協働によるまちづくりがより推進する

期待している。市民と市民活動団体への支援について、現状と課題は。

答 市長 公益的活動を行う市民と市民活動団体を市民協働によるまちづくりの重要な担い手として位置付け、活動拠点の確保、人材育成、財政支援などを行っている。

今後は、ますます多様な活動化する市民活動に対して継続した支援を行うとともに、市民活動サポート室の充実を図り、市民の皆さまが自主的に活動しやすい環境づくりに努めていく。

●学校と警察との相互連携  
問 学校と警察との相互連携に係る協定が締結されたが、運用に当た

る運動、文化、環境への取り組みは。

答 市長 温泉、食事、運動、環境をキーワードに七沢、飯山地区で「健康づくり大学」を実施した。また、神奈川県内で初めて認定を受けた森林セラピー基地を活用したセラピーツアーやノルディックウォーキングなどを実施している。今後

もさらなる地域の活性化に努めていく。

### 広報広聴 特別委員会から

特別委員会から

今回の9月定例会では、厚木市議会が初めて、決算議案が各常任委員会に分割付託され、審査が行われました。これは、行政に対する議会の監視機能をより充実させるため、決算特別委員会による審査方法から、各常任委員会でも審査する方法に変更したものです。

これにより、各常任委員会では、所管科目について、よりきめ細かい審査が行われました。さて、こうした審査

- 広報広聴特別委員会  
委員長 石井芳隆  
副委員長 釘丸久子  
委員 瀧口慎太郎、名切文梨、難波達哉、遠藤浩一、井上敏夫、松前進、田上祥子

### 議会運営の在り方など 具体的な検討が始まる

議会運営の在り方検討会を設置

神子雅人議長は、10月2日に議会運営委員会に対し、議会運営の在り方など、4項目を諮問しました(左下を参照)。

これは地方分権の進展や社会の多様化により、地方議会の果たすべき役割がますます重要となる中、議会運営の在り方などについて検討を求めたもので、前議長が議会運営委員会に諮問し、受け

た答申書の内容のほか、新たな項目を追加して、具体的な検討を求めると同時に、諮問を受けた議会運営委員会は、委員9人で構成される議会の在り方検討会(川口仁会長)を設置。10月19日に第1回会議を開催し、委員外議員の出席や今後の進め方について、協議が行われました。

### 【諮問事項】

- 地方自治法改正に伴う検討について(議員定数のあり方)
- 通年議会の実施について
- 市議会議員選挙の時期について(市長選挙と同時執行できないか)
- 議会基本条例の策定について(必要性並びにその内容)

行っていく予定です。

会議は、原則公開とし、インターネット中継も実施しています。日程は決まり次第、ホームページでお知らせします。



# 委員会の審査

## 条例・補正予算など

### —主な質疑と答弁、意見—

条例の制定・改正や補正予算の議案、請願や陳情について、常任委員会での主な質疑と答弁、委員の意見を紹介します。

### 総務企画

○厚木市セーフコミュニティ推進条例について

問 セーフコミュニティの柱には、どのようなものがあるのか。

答 取り組みの柱として、「交通安全、自転車生活の安全、体感治安と公共の場における安全、家庭と余暇の安全、子ども・自らの安全、高齢者の安全、暴力・自殺の予防、職場（労働）の安全」の八つを掲げている。

問 再認証を受けるには、条例の制定がされなければならないのか。

答 再認証に向け、条例化が一つのポイントになるとは思うが、絶対的なものではない。

○平成24年度厚木市一般会計補正予算（第4号）所管科目

問 圏央道開通記念事業を当初予算に計上しなかった理由は。

答 当初予算の議案を提出する2月には、開通

が3月なのか4月なのか分からなかった。ここである程度3月になると分り、計上した。

○「神奈川県緊急財政対策本部調査会」の中間報告への見直しを求める意見書を県に提出すること

を求める陳情  
《委員の意見》  
・これから最終報告が出た後、県議会で論議が始まるので、今の段階で賛成するわけにはいかない。県からの単独補助金は約13億円もあり、何らかの影響は出る。今こそ早めの意思表示が必要である。県議会の動向を見ることとし、継続審査にしておいた方がよい。

○原発からの撤退を決定するよう国に意見書を提出することを求める陳情  
《委員の意見》  
・昨年の福島第一原子力発電所の事故以来、放射能汚染や原発の危険性を感じ、多くの人たちの関心が高まっている。陳情を出された思いは、多くの人たちが共有している

### 市民福祉

○厚木市市民協働推進条例について

問 第9条では、「市民協働を推進するため、市民協働を推進するための拠点施設及び体制の整備に努める」とあるが、何を行うのか。

答 拠点施設としては、市民活動サポート室を、さらに充実していきたい。体制の整備は、市民活動に役立つスキルアップ講座の開催や、ボランティア相談、保障制度などの支援を考えている。

問 市民協働推進委員会は、第11条の「条例の運用状況の点検等を行う」以外に何を行うのか。

答 第10条で設置する「厚木市市民協働推進基金」を活用して、市民活動団体に助成する場合には、NPO法人の条例指定の際に審査する役割を担うことになる。こととなる。

○平成25年度における重度障害者医療費助成制度継続についての陳情

問 厚木市の助成は、他市町村と比べてどうか。

答 身体障害者手帳の3級や療育手帳のB1、

精神障害者保健福祉手帳1級の入院については、神奈川県よりも拡大して助成している。なお、厚木市の助成範囲と同程度は6市町で、県の補助対象以下は18市町ある。

### 環境教育

○厚木市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例について

問 現在の経済状況を鑑みて、この時期に改正する意図は。

答 ごみの減量化・資源化および適正処理をさらに推進するとともに、環境センターの改修工事やごみ処理に掛かる経費により、ごみ処理手数料を見直す必要が生じ、今回の改正に至った。

問 第28条の改正内容は、自分の土地にごみを

### 都市経済

○平成24年度厚木市一般会計補正予算（第4号）所管科目

問 道路維持補修事業の新規バス路線の整備について、官地幅の約15メートルのうち、6・5メートルだけの道路舗装となれば、端から壊れることがある。舗装止めもしなければならないのではないか。

答 今回は、バスの走行性、安全性を図るための緊急的な整備である。既設の舗装に段差があることから、表層を3センチ削り取り、その上に5センチの表層を舗装する工事を実施する。路肩などの保護や整備については、今後、道路状況を見極めながら、計画していきたい。

問 交通安全施設事業

費増について、通学路整備の具体的な内容は。  
答 6月に開催された通学路の安全対策協議会で挙げられた3カ所について、児童の安全確保と運転者の注意喚起を図るため、道路などを整備する。1カ所は、三田小学校区の小学校北側にある三田下荻野線の歩車分離の道路に、横断防止柵を520メートル設置する。2カ所目は、相川小学校区の岡田四丁目地内の東名高速道路北側に位置する変則交差点において、優先道路が明確でないことから、キラキラ舗装と誘導する工事を実施する。3カ所目は、愛甲小学校区の船子地内にあるT字の交差点部の横断歩道付近がカーブになっており、運転者が確認しづらいため、横断歩道の手前

## 病院特別委員会

9月定例会終了後、厚木市立病院特別委員会が開かれ、執行機関から、厚木市立病院建設工事の再度公告入札や総合医療情報システムなどについて説明がありました。説明後の委員の主な質疑と執行機関の答弁を紹介します。

問 今回の再度公告入札で、当初目指していた新病院の機能に変化があるのか。

答 新病院の機能については、当初から計画していた目指すべき病院の機能に一切変更はない。最終的には、より機能性の高い新病院を目指している。

問 オーダリングシステムのセキュリティー管理はどのようにしているのか。

答 このシステムは院内だけのシステムで、外部とは連携していないので、外からシステム内に入ることはできない。院内の職員には、それぞれIDとパスワードを付与している。権限を持った職員が、権限に沿って見ていくので、きちんとしたセキュリティーが確保できている。

問 院内の総合医療情報システムだが、今後、厚木市立病院が病診連携や病病連携を行う中で、他の医療機関とつないでいくことは、考えているのか。

答 今後、普及が進み、なおかつ、セキュリティーが確保できれば、進めていく方向で考えている。ただし、管理するところがきちんと

いたため、横断歩道の手前に褐色のベンガラ舗装というカラー舗装の工事をしている。また、その南側の流通センター側の道路の路側線が薄くなっていることから、この復旧とグリーン化舗装を実施する。

### 委員の意見

○関口・山際地区の区画整理事業に反対する陳情

・区画整理事業を組合方式で行うか、民間企業が行うかに絞られている。事業実施には、地域の方、地権者、地元議員が検討して決めればよいと思う。

・継続審査後、行政は相談コーナーを設けるなど、丁寧な説明をしてきたことは評価する。地権者は、行政がバックで応援してくれることで安心感を持てるが、地権者のペースに合わせながら、事業を進めてほしい。

# 平成23年度 決算の認定

平成23年度一般会計と特別会計の歳入歳出決算および病院事業会計決算は、定例会初日に各常任委員会に分割付託され、所管科目について、慎重な審査を行った結果、全会計とも認定すべきものと決しました。最終日の各委員長報告の概要や要望事項などを紹介します。

決算議案は今年度から、所管科目に応じて常任委員会に分割付託され、審査が行われました。これまで決算議案は、決算特別委員会を設置し、審査を行ってきましたが、行政に対する議会の監視機能をより充実させるため、審査方法を見直したものです。

## 要望事項

## 市民福祉

## 都市経済

審査の結果、各常任委員会から、次のとおり要望事項が報告され、今年度および来年度以降の行政運営に反映し、対応されることが期待されました。

## 委員長報告の概要

## 総務企画

平成23年度は、厚木市の総合計画「あつぎ元気プラン」の第一期実施計画の最終年度であり、総合計画の着実な推進を図るとともに、重点項目などへの取り組みは、評価するところである。

しかしながら、歳入面の市税収入については、今後も景気低迷の長期化や社会構造の変化などにより、大幅な伸びは期待できない状況が予想され、厳しい財政運営が続くものと考えられる。引

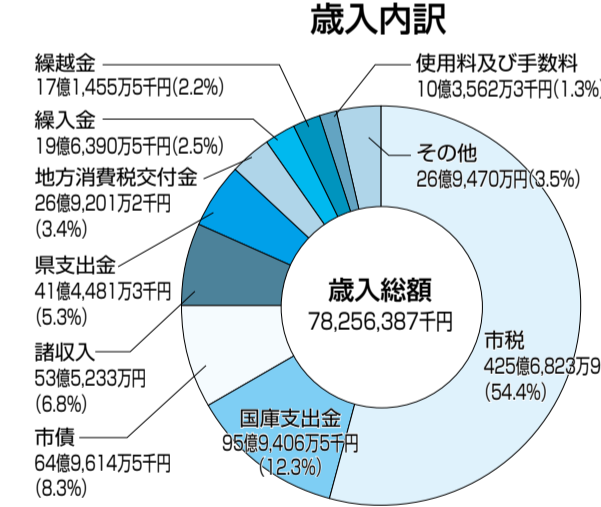
**1** 積極的な行政改革を求め、また、財源確保にあらゆる努力を尽くされたい。特に、普通財産の処分または有効活用を早急に行われたい。  
**2** 予算執行において重大な変更が起きた場合は、少なくとも当該年度中に議会に説明する必要があると考えるので、今後、検討されたい。  
**3** 市民サービスの向上を図る上で、業務の円滑な遂行と市民サービスを

**1** 少子高齢化を初めとする社会情勢の変化に対応した柔軟な施策が求められることから、限りある財源を有効に活用するとともに、各種保険料等の収納の強化を図るなど、財源の確保に努められたい。  
**2** 厳しい財政状況ではあるが、市民サービスの低下を招かぬよう努められたい。なお、事業の運営に当たっては、利用者・対象者の実態を正確に把握し、より一層事業の効果が上がるよう研究・改善されたい。  
**3** 各補助金について、検証・見直しを行い、公平・平等な配分になるよう努められたい。

**1** 公の施設については、負担の公平性を確保することから受益者の負担が検討される中で、その決定に当たっては利用者の負担が適正となるよう配慮され、施設の利用が減少することのないよう努められたい。経費削減等に向け、あらゆる角度から事業の検証を行い、さらなる改革に取り組まれたい。  
**2** 事業の策定に当たっては、パブリックコメント等により、市民のニーズを的確にとらえ、費用対効果などを十分に考慮されたい。事業の執行に当たられたい。  
**3** 体育施設、学校施設について、補修や整備等が生じた場合は、迅速に対応されたい。児童・生徒に係る教育費等の予算上の対応については、未来への投資を惜しまぬよう取り組まれたい。

## 平成23年度決算の内容

### 一般会計決算



市民1人当たりに使われた金額 **342,286円**

※一般会計歳出総額76,685,166,892円を平成24年4月1日現在の人口224,038人で割ったもの

【主な使い道(目的別)の内訳】

- ◆民生費…119,575円 (児童福祉費、社会福祉費、生活保護費など)
- ◆衛生費…48,362円 (保健衛生費、清掃費)
- ◆総務費…38,013円 (総務管理費、企画文化費、徴税费など)
- ◆土木費…37,088円 (都市計画費、道路橋りょう費、土木管理費など)
- ◆公債費…29,314円 (借入金返済)
- ◆教育費…28,110円 (小・中学校費、社会教育費、教育総務費など)
- ◆商工費…21,891円 (商工費)
- ◆その他…19,933円

### 会計別決算

会計名	予算現額	収入済額	支出済額	収支差引額	翌年度繰越財源	翌年度繰越又は繰上充用額	
一般会計	79,292,817,066	78,256,387,440	76,685,166,892	1,571,220,548	185,418,078	1,385,802,470	
特別会計	公共用地取得事業	539,241,000	539,238,343	539,238,343	0	0	0
	後期高齢者医療事業	1,612,215,000	1,607,857,330	1,583,615,717	24,241,613	0	24,241,613
	国民健康保険事業	23,612,849,000	23,833,769,534	23,329,151,622	504,617,912	0	504,617,912
	介護保険事業	8,486,168,000	8,401,219,127	8,270,783,400	130,435,727	0	130,435,727
	交通災害共済事業	5,371,000	5,371,517	4,284,609	1,086,908	0	1,086,908
	公共下水道事業	5,602,621,000	5,584,981,271	5,310,109,678	274,871,593	20,250,000	254,621,593
	小計	39,858,465,000	39,972,437,122	39,037,183,369	935,253,753	20,250,000	915,003,753
合計	119,151,282,066	118,228,824,562	115,722,350,261	2,506,474,301	205,668,078	2,300,806,223	

○ 病院事業会計 (単位：円)

企業会計のため、一事業年度の経営活動に伴い発生する「収益的収支」と、将来の経営活動に備えて行う施設整備などに伴い発生する「資本的収支」に分かれています。

◆収益的収支 ※平成23年度純利益3,926,938円

収入総額	7,198,540,363 (7,193,148,939)	支出総額	7,193,186,757 (7,189,222,001)
医業収益	6,591,207,255	医業費用	7,101,815,171
医業外収益	607,333,108	医業外費用	77,630,693
		特別損失	13,740,893

( )内は、消費税および地方消費税抜き金額

◆資本的収支

収入総額	1,010,800,000	支出総額	1,207,434,534
負担金	68,783,000	建設改良費	432,932,344
企業債	826,700,000	開発費	629,856,034
出資金	115,317,000	企業債償還金	137,566,156
		投資	7,080,000

※収入総額と支出総額の差額は、消費税および地方消費税資本的収支調整額、損益勘定留保資金で補てんされました。

【参考】平成22年度一般会計決算額 歳入総額76,946,084,932円、歳出総額75,237,731,099円

本会議の審議結果

Table with columns: 番号, 9月定例会提出案件, 各会派の賛否 (改革, みらい, 公明党, 共産党, 市政ク, 民主ク, 市民, みんな, ネット, 子育て), 結果. Rows include various resolutions and motions such as budget adjustments, disaster response, and committee appointments.

○「議案第80号 監査委員の選任について」は、本人の監査委員選任議案のため、地方自治法第117条の規定により田上祥子議員（公明党厚木市議員団）を除外し、採決が行われました。
○「陳情第17号 『神奈川県緊急財政対策本部調査会』の中間報告への見直しを求める意見書を県に提出することを求める陳情」は、総務企画常任委員長の継続審査の申し出に対し、賛成多数（反対は田上祥子議員、寺岡まゆみ議員、遠藤浩一議員、川口仁議員、名切文梨議員、古川環議員）で継続審査となりました。
○平成24年8月30日および10月5日議決時の会派構成など
※議長…神子雅人（議長は採決に加わりません）、副議長…寺岡まゆみ
※会派表記、正式名称、議員数、所属議員（ 〇 は代表者）
改革…改革あつぎ（7）：石井芳隆、松本樹影（議員提出議案第8号賛成）、松前進、高田浩、小島一郎、太田洋、徳間和男
みらい…あつぎみらい（7）：松田則康、瀧口慎太郎、渡辺貞雄、難波達哉、越智一久、神子雅人、沼田幸一 公明党…公明党厚木市議員団（4）：田上祥子（議案第80号除外）、寺岡まゆみ、遠藤浩一、川口仁
共産党…日本共産党厚木市議員団（2）：釘丸久子、栗山香代子 市政ク…市政クラブ（2）：石井恒雄、井上敏夫 民主ク…民主クラブ（2）：名切文梨、古川環 市民…あつぎ市民の党（1）：奈良握
みんな…みんなの党（1）：井上武 ネット…神奈川ネットワーク運動（1）：内川由喜子 子育て…子育て応援（1）：泉修

市議会選出の各種委員会委員など 【平成24年10月29日現在】
◆監査委員／田上祥子 ◆農業委員会委員／寺岡まゆみ、石井芳隆 ◆厚木愛甲環境施設組合議会議員／瀧口慎太郎、釘丸久子、越智一久、井上敏夫、石井芳隆、川口仁、太田洋
◆公益財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団評議員／神子雅人 ◆国道246号バイパス建設促進協議会委員／神子雅人 ◆国道412号線建設改良促進協議会委員／神子雅人 ◆首都圏中央連絡道路建設促進期成同盟会参与／神子雅人 ◆新東名高速道路建設促進期成同盟会参与／神子雅人 ◆神奈川県後期高齢者医療広域連合議会議員／神子雅人 ◆民生委員推薦会委員／難波達哉 ◆都市計画審議会委員／神子雅人、小島一郎 ◆青少年問題協議会委員／越智一久 ◆鷲尾山対策協議会委員／松本樹影、難波達哉、高田浩、田上祥子 ◆主要地方道伊勢原津久井線建設改良促進協議会委員／越智一久 ◆上飯山中津上依知線道路整備促進協議会顧問・委員／神子雅人、松本樹影、渡辺貞雄、石井芳隆、川口仁 ◆中津川堤防道路整備促進協議会顧問・委員／神子雅人、井上敏夫、石井芳隆、松田則康、川口仁、田上祥子、小島一郎、太田洋 ◆座間荻野線建設促進協議会顧問・委員／神子雅人、松本樹影、難波達哉、井上敏夫、高田浩、石井芳隆、松田則康、川口仁

12月定例会の開催予定
●本会議
11月29日(木)…議案等質疑
12月5日(水)～7日(金)…一般質問
12月21日(金)…委員長報告・討論・採決
●常任委員会
総務企画…12月11日(火) 市民福祉…12月12日(水)
環境教育…12月13日(木) 都市経済…12月14日(金)
◆特別委員会
厚木市立病院特別委員会…12月21日(金)
(本会議など終了後)
広報広聴特別委員会…12月21日(金)
(本会議など終了後)
※開会は、原則として午前9時です。傍聴は、本庁舎5階ロビーで受け付けます。

特別委員一覧 【平成24年8月30日現在】
◎印は委員長、○印は副委員長
厚木市立病院特別委員会 (9人) ◎松田 則康 ○栗山香代子 古川 環 仁 松本 樹影 沼田 幸一 川口 徳間 和男 田上 祥子 石井 恒雄
広報広聴特別委員会 (9人) ◎石井 芳隆 ○釘丸 久子 瀧口慎太郎 名切 文梨 難波 達哉 遠藤 浩一 井上 敏夫 松前 進 田上 祥子